

議題 2) 今年度業務の内容と取組方針について (資料)

1. 生活支援・支え合いサービス事業

① 予算額

2, 370 千円

② 事業の目的

高齢者が、安心して生活できるよう、民間の担い手が掃除やゴミだし、買い物等の「生活支援・支え合いサービス（よろず支援サービス）」を安価に提供するシステムの構築を目指します。

また、若者から高齢者まで、誰もが生きがいを持ち生活できるよう、地域住民が持つ技能や技術を生かしながら、地域の課題解決に参画できるシステムの構築を目指します。

③ 平成30年度における取組みについて

これまで実施した高齢者福祉等に関するアンケートやワークショップ等の結果を整理し、求められるサービスと担い手の把握を進めます。また、生活支援や支え合いサービスに関する講演会を実施し、担い手となる人材の育成と発掘に繋がります。

2. 多世代交流の仕組みづくり事業

① 予算額

6, 400 千円

② 事業の目的

子育てや生きがいづくりなど、各世代において異なった支援を必要としています。幅広い世代が協力しながら課題解決できるよう、子どもから高齢者まで、だれもが気軽に交流できる仕組みづくりを進めます。

③ 平成30年度における取組みについて

公民館の他、各区や民宿、店舗などへの協力を求めながら生涯教育やセカンドキャリアの講習会等を開催するなど、多世代交流の機会を設けます。

また、1. に掲げる事業とともに、本事業は、担い手自身が継続的に運営できる仕組みが求められることから、必要に応じて、地域支援の活動の立ち上げ等への支援を行う団体等の知見も得ながら、円滑に担い手へ運営のバトンタッチができる仕組みづくりに取り組みます。

3. 特産品の開発事業

(1) 概要

町では、生涯活躍のまち・おんじゅく（御宿版C C R C）構想の取組みとして、オリーブ等を活用した6次産業化による地域活性化と人材育成を実施いたします。

(2) これまでの経過

平成30年3月1日 生涯活躍のまち・おんじゅくワークショップの開催
（御宿町における地域再生計画について）

平成30年3月26日 オリーブの研究に係る会合
（研究会としての組織づくりについて）

平成30年4月17日 オリーブの研究に係る会合
（オリーブ研究会が発足された）

(3) 予算

講師謝礼・・・・・・・・・・100,000円

旅費・・・・・・・・・・350,000円

※オリーブ等の特産品開発に向けて知識や技能習得のための講習会や
視察研修の実施

土地賃借料・・・・・・・・・・150,000円

※オリーブ植栽に係る適地に対する賃借料
補助金・・・・・・・・・・3,000,000円

交付金の採択では苗木の補助分としての、300万円が対象外とされたが、内50万円程については事業促進のため効果的に活用したいと考えております。また、残りの250万円については事業の実施状況を見据え最終補正にて対応したいと考えております。

(4) これからの予定

- ①先進地視察の日程や場所の選定
- ②講習会の日程、内容について
- ③苗木の補助に対するルールづくり
- ④町内で収穫できる作物のカレンダーの作成
- ⑤オリーブ研究会との連携を図り、多業種間による様々な可能性を研究するとともにオリーブを活用した体験プログラム等も考察し、6次産業化に向けた展開を考えてまいります。

	農産物	水産物
1月	大根 ねぎ 白菜	キンメ ヒラメ
2月	ブロッコリー ねぎ キャベツ	キンメ ヒラメ
3月	たまねぎ ねぎ キャベツ 切花	キンメ ヒラメ
4月	切花	キンメ 伊勢えび さざえ
5月	そらまめ じゃがいも	キンメ 伊勢えび ヒラマサ さざえ
6月	ねぎ じゃがいも 玉葱 うり なす	キンメ ヒラマサ
7月	トマト なす じゃがいも キュウリ パッションフルーツ	スルメ アワビ
8月	トマト なす すいか ビーマン キュウリ パッションフルーツ	スルメ アワビ
9月	さつまいも なす キュウリ パッションフルーツ <u>オリーブ</u>	スルメ アワビ
10月	落花生 大豆 さつまいも 枝豆 ごぼう <u>オリーブ</u>	キンメ
11月	大根 ねぎ 白菜 里芋 自然薯 切花	キンメ
12月	大根 ねぎ 白菜 里芋 ブロッコリー	キンメ ヒラメ

4. 移住・交流促進事業

○都市住民を対象とした移住定住事業

①予算額 6, 350千円

②事業の目的

新たな移住者の呼び込みや住民の町外への流出防止を図るため、都市住民のニーズを把握します。そのための不特定多数に対するアンケートの実施と、移住を検討している方々によるワークショップを開催することで、精度の高いニーズを把握し、移住体験ツアーの内容見直しやお試し暮らし事業の組み合わせにより、移住者の増加を目指します。

③平成30年度における取り組みについて

移住に対する幅広い要望や問題点等を把握するため、都市住民ウェブアンケート調査を実施します。また、移住に対する内容だけでなく、御宿町の観光や福祉に対する内容についても活用できるように実施を予定しています。

そのアンケートで、「御宿町への移住に大変関心がある」と回答した方の中から、都市住民ワークショップを開催することにより、希望する働き方やライフスタイルについてなど、さらに詳細な移住に対するニーズの把握を行います。

その調査結果を活用し、内容を見直した移住体験ツアーを実施するとともに、お試し暮らし事業の組み合わせにより、移住者の増加を目指します。

○特色ある教育教育プログラム事業

1. 事業の目的

地方創生推進交付金を活用し、御宿町の特色ある教育活動の更なる充実を図ることで、御宿町の子どもたちの学力向上と子育て世代の町外への転出防止と移住の促進に繋がっていきたくと考えております。

2. 平成30年度における取り組み

(1) 小学生週末英語教室の開講

平成32年度から全面実施される新学習指導要領の重点項目である「小学校における英語科」の導入に対応するため、御宿町教育委員会では、英語教育の充実を図り、英語という国際的な共通言語を習得することで、世界に視野を広げると共に豊かな国際感覚を備えた子どもの育成を目指します。

- ・事業内容 (株)市進の講師による少人数指導の英語教室。
- ・対象学年 御宿小学校・布施小学校の小学4年生
- ・開催場所 公民館
- ・指導回数 毎週土曜日／全30回の予定(7月～3月)
- ・費用 1,080,000円

(2) 中学生週末学習塾の開講

大学入試改革により、現在のセンター試験方式は2019年度(2020年1月実施)で廃止し、新たに「大学入試共通テスト」を実施することが発表されました。現在の中学3年生はこの新しい入試制度で受験することになります。

現在のセンター試験からの大きな変更点として、これまでのセンター試験になかった国語や数学における記述式問題の導入と英語については2技能(読む・書く)から4技能(読む・聞く・話す・書く)を評価することなどが上げられます。

こうした大学入試改革に関連して公立高校入試においても同様の変更が想定されることから、5教科のうち「英語と数学」の補講授業を実施し、中学生の学力向上を図ります。

- ・事業内容 予備校や学習塾の講師による生徒の学習レベルに合わせたグループ指導と個別指導で学力向上を目指す。
- ・対象学年 御宿中学校3年生（英語と数学）
- ・開催場所 中学校の教室を予定
- ・指導回数 毎週土曜日／全20回の予定（9月～2月）
- ・費用 約1,400,000円（見込）

5. 情報発信サイト構築事業

①予算額 4,210千円

②事業の目的

移住先を選ぶ際に役立つ情報として「自治体のホームページの充実」が挙げられており、移住定住の促進や交流人口を増加させるため、移住情報やイベント開催、宿泊施設の紹介、おすすめ情報などの情報を発信する、都市住民向けの情報発信サイトを立ち上げます。

③平成30年度における取り組みについて

都市住民向けに情報発信サイトを立ち上げるにあたっては、都市住民ウェブアンケート調査を参考にするとともに、オール御宿（観光協会や商工会、各種団体や個人経営者等）で管理運営できる持続可能な仕組み作りを模索しつつ、情報発信サイトを年度内に構築します。

6. サービス付高齢者住宅事業者・介護事業者等誘致セミナー実施事業

①予算額

1,000千円

②事業の目的

地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができ、また移住希望者が安心して御宿町へ転入できるよう、民間事業者が行う介護事業の更なる充実を図るため、関係事業者に対し、御宿町の環境や施策等についてアピールし、御宿町での事業展開へのきっかけづくりに取り組みます。

③平成30年度における取り組みについて

事前に関連事業者に対して御宿町への関心度調査を行い、関心度の高い事業者に対し、説明会や現地視察などを実施します。